

SPARX

# 2009年3月期第3四半期 決算説明会資料

2009年2月20日



スパークス・グループ株式会社

# 2009年3月期第3四半期の業績について



## 2009年3月第3四半期決算サマリー (1)

PL面で、ロスが増加。本業の悪化に加え、「その他の影響」もネガティブに働いた

- ▶ 営業収益は大幅な減少 93.6億円（前年同期比 ▲61.7%）
  - － 運用資産残高(AUM)の減少に伴い、残高報酬も減少(前年度比 ▲34.2%)
  - － 自己資金投資案件の評価損(営業投資有価証券評価損: ▲11.9億円)が発生
  
- ▶ 営業利益は、▲27.0億円（前年同期は、+66.0億円）
  
- ▶ 経常利益▲32.8億円、純損益▲40.0億円と損失額が拡大
  - － 特別損失が、第3四半期に657百万円発生(累計ベースで、998百万円)



## 2009年3月第3四半期決算サマリー (2)

### BS面で、純資産が大きく劣化した

- ▶ 純資産の額は、358.7億円に減少（前年度末 476.2億円）
  - － 為替変動等が連結BSに大きく影響
    - ▶ 為替レートの変動により、為替換算調整勘定が大きく変動（前年度末比 ▲14.9億円）
  - － シードマネーとしての投資有価証券の時価が大きく下落
    - ▶ その他有価証券評価差額金の変動（前年度末比 ▲24.7億円）

### COSMO社株式の韓国ロッテグループへの譲渡は4QにPL上はポジティブ・インパクト

- ▶ 譲渡益の約42億円は、第4四半期に計上、年度決算に反映（後発事象として開示）  
（2010年2月、2011年2月にも譲渡益の計上を見込む）



## 2009年3月第3四半期決算サマリー (3)

当社の喫緊の課題は、

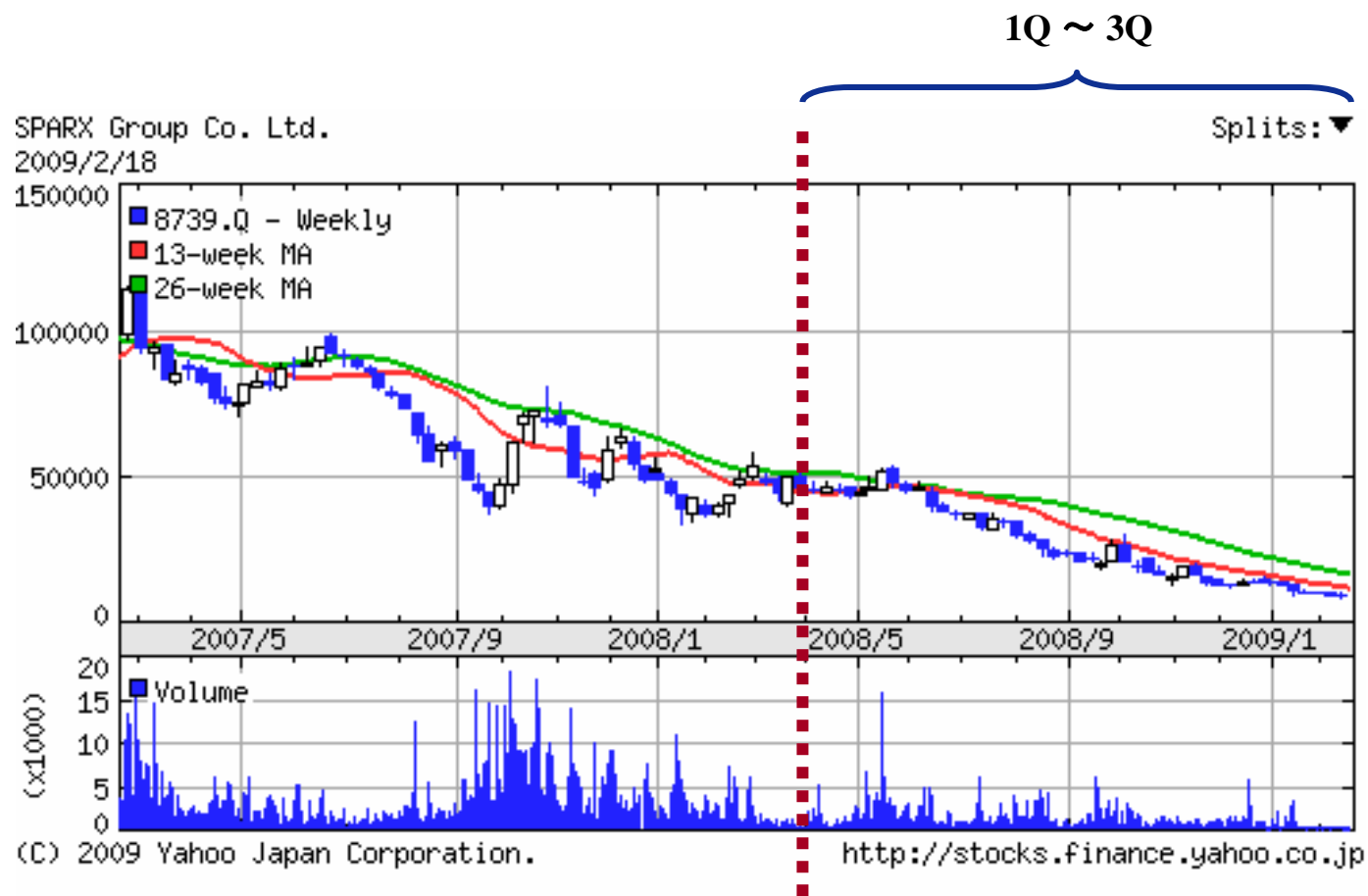
- ①基礎収益力の回復
- ②その他のマイナス要因を排除する、こと

AUM、残高報酬の急激な回復を前提とはしないで、コスト構造の改革を含めたビジネスドメイン・組織のスリム化を実施する

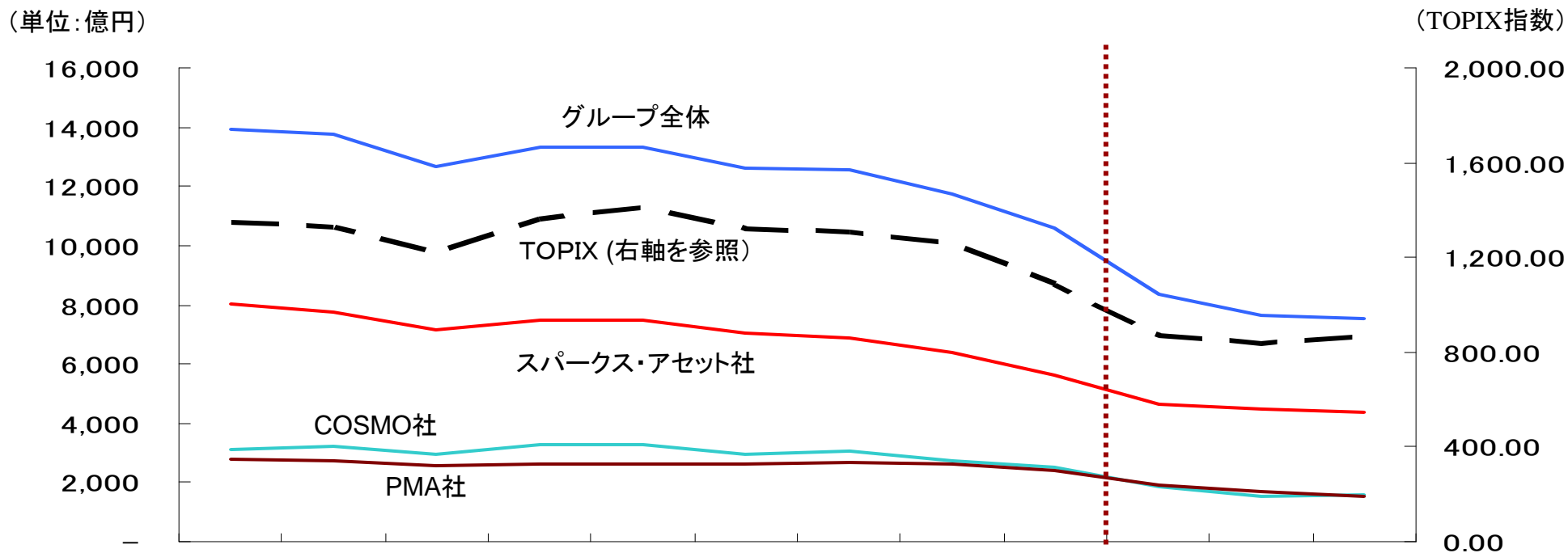
- ▶ 成長の芽を継続しながら、第2のリストラを実施する
  - 昨年10月に発表した「経営改革」だけでは不十分
  - スパークス・アセット社については、日本株ロングオンリー・日本株ロングショートを中核事業として経営資源を集中する
  - 上記以外のビジネスについては、事業のパフォーマンスと将来性を精査し、今年度中に「どのビジネスにつき選択・集中するか、および撤退するか」を決める
- ▶ BSの健全化、およびスリム化を前倒して実施する
- ▶ 厳格なLiquidity Managementを実施する
  - 外部負債の返済については、厳しいストレス・テストを実施済み



## 当社の株価の推移(2007年3月末-2009年2月末)



# 運用資産残高の動き(2008年1月末-12月末)



(単位: 億円)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
スパークス・アセット社	8,047	7,766	7,159	7,474	7,461	7,059	6,870	6,405	5,643	4,634	4,465	4,383
Cosmo社	3,132	3,237	2,928	3,259	3,257	2,936	3,053	2,730	2,524	1,852	1,508	1,610
PMA社	2,766	2,736	2,561	2,605	2,615	2,637	2,653	2,612	2,410	1,884	1,695	1,540
グループ合計	13,946	13,740	12,649	13,339	13,335	12,633	12,576	11,748	10,578	8,372	7,668	7,533
TOPIX	1,346.31	1,324.28	1,212.96	1,358.65	1,408.14	1,320.10	1,303.62	1,254.71	1,087.41	867.12	834.82	859.24

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
スパークス・アセット社	8,047	7,766	7,159	7,474	7,461	7,059	6,870	6,405	5,643	4,634	4,465	4,383
Cosmo社	3,132	3,237	2,928	3,259	3,257	2,936	3,053	2,730	2,524	1,852	1,508	1,610
PMA社	2,766	2,736	2,561	2,605	2,615	2,637	2,653	2,612	2,410	1,884	1,695	1,540
グループ合計	13,946	13,740	12,649	13,339	13,335	12,633	12,576	11,748	10,578	8,372	7,668	7,533
TOPIX	1,346.31	1,324.28	1,212.96	1,358.65	1,408.14	1,320.10	1,303.62	1,254.71	1,087.41	867.12	834.82	859.24

- スパークス・アセット社は、4,383億円(前期末比38.8%減、前年同月末比51.3%減)
- COSMO社は、1,610億円(前期末比45.0%減、前年同月末比56.1%減)
- PMA社は、1,540億円(前期末比39.9%減、前年同月末比49.3%減)



## 運用資産残高の増減(2008年3月末～12月末)

(単位: 億円)

事業主体別	2008年3月末	流入	流出	純流出入	運用・為替 差損益等	2008年12月末
スパークス・アセット社	7,159	453	-1,736	-1,283	-1,492	4,383
COSMO社	2,928	1,439	-1,363	75	-1,393	1,610
PMA社	2,561	365	-798	-433	-587	1,540
当社グループ全体	12,649	2,257	-3,899	-1,641	-3,474	7,533

(単位: 億円)

スパークス・アセット社	2008年3月末	流入	流出	純流出入	運用・為替 差損益等	2008年12月末
日本株式ロング・ショート投資戦略	1,310	126	-376	-250	-35	1,024
日本株式バリュー・クリエーション投資戦略	744	16	-473	-457	-118	167
日本株式集中投資戦略	525	21	-117	-95	-111	319
ファンド・オブ・ファンズ投資戦略	701	38	-167	-128	-114	457
日本株式一般投資戦略	2,431	70	-376	-306	-779	1,345
日本株式中小型投資戦略	1,345	179	-223	-44	-299	1,001
日本株式未公開株式投資戦略	53	0	0	0	-13	38
その他	47	0	0	0	-20	26
合計	7,159	453	-1,736	-1,283	-1,492	4,383



(注1) 上記表中の数字は、単位未満を切り捨てて表示している。

(注2) 「運用・為替差損益等」には、2008年3月末と2008年12月末の換算レートによる差額分が含まれている。

## 運用資産残高の増減(2008年3月末～12月末)

(単位:億円)

COSMO社	2008年3月末	流入	流出	純流出入	運用・為替 差損益等	2008年12月末
韓国株式インデックス運用戦略	1,505	1,329	-972	356	-923	939
韓国株式一般投資戦略	742	90	-222	-131	-317	293
韓国株式ロング・ショート投資戦略	409	19	-142	-123	-33	253
韓国株式集中投資戦略	142	0	-6	-6	-71	64
その他	128	0	-19	-19	-48	60
合計	2,928	1,439	-1,363	75	-1,393	1,610

(単位:億円)

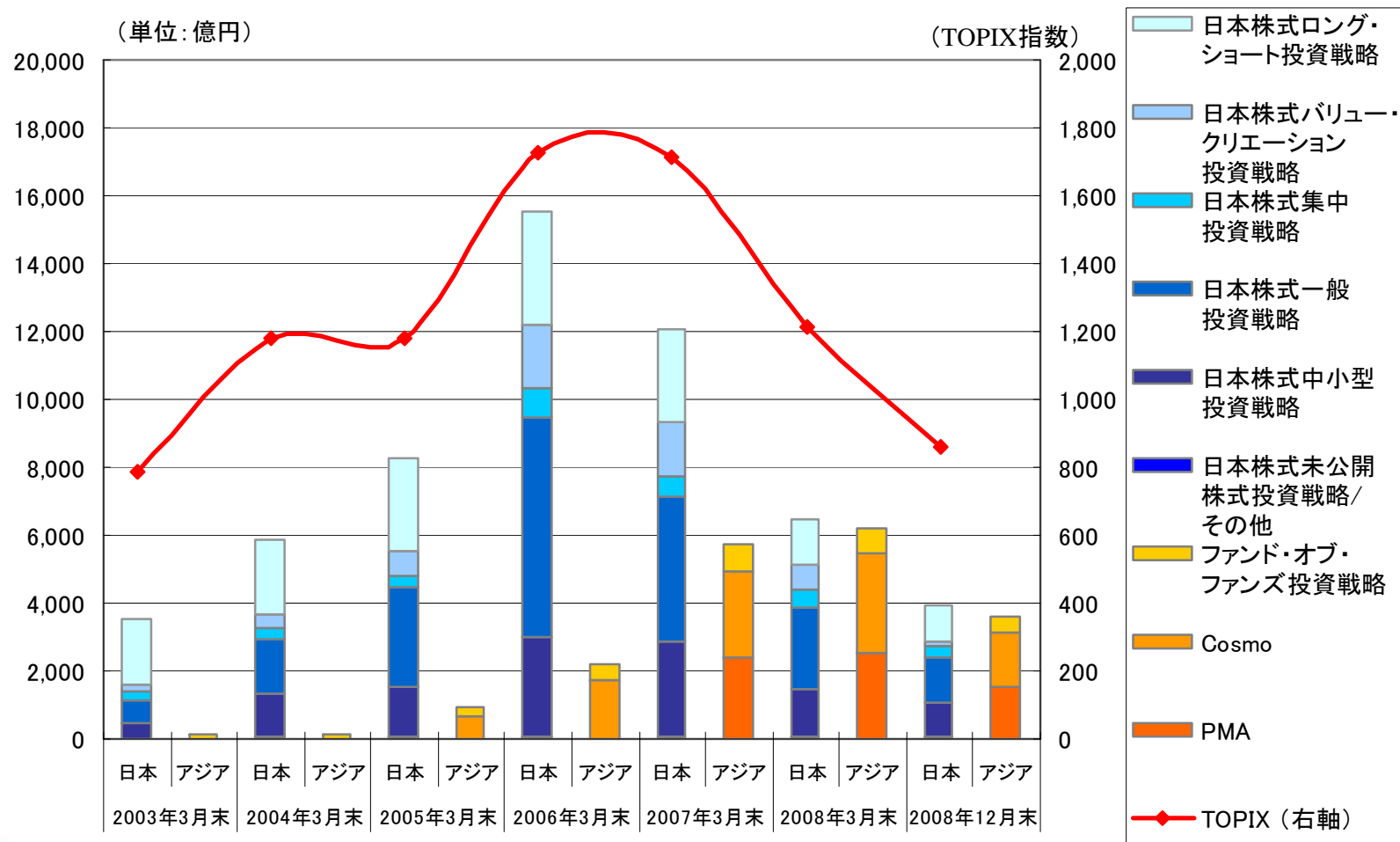
PMA社	2008年3月末	流入	流出	純流出入	運用・為替 差損益等	2008年12月末
アジア株式投資戦略	1,417	48	-403	-355	-466	594
アジア・欧州債券投資戦略	988	216	-307	-91	-185	712
アジア・マクロ投資戦略	155	101	-87	13	64	233
合計	2,561	365	-798	-433	-587	1,540



(注1) 上記表中の数字は、単位未満を切り捨てて表示している。

(注2) 「運用・為替差損益等」には、2008年3月末と2008年12月末の換算レートによる差額分が含まれている。

# 地域別運用資産残高の推移



(注1) 2005年2月: COSMO社買収  
 (注2) 2006年6月: PMA社買収  
 (注3) 2007年1月: ファンド・オブ・ファンズ投資戦略を香港へ移管  
 (注4) 使用数値は確報値(12月末のファンド・オブ・ファンズ投資戦略を除く)

## 第3四半期 連結決算について

	2008年3月期		2009年3月期	
	第3四半期	通期	第3四半期	前年同期比
運用資産残高(AUM)平残 (億円)	17,118	16,197	10,865	-36.5%
営業収益 (百万円)	24,446	30,552	9,364	-61.7%
営業費用・一般管理費 (百万円)	17,840	22,933	12,068	-32.4%
営業利益 (百万円)	6,605	7,619	-2,704	-
経常利益 (百万円)	7,031	8,157	-3,280	-
当期利益 (百万円)	3,113	3,213	-4,007	-
従業員数(期末) (人)	276	284	(注2) 289	+4.7%
TOPIX(期末)	1,475.68	1,212.96	859.24	-41.8%



(注1) 上記表中の数字は、「前年同期比」を除き、単位未満を切り捨てて表示している。「前年同期比」は、四捨五入により小数点第1位まで表示している。

(注2) 「従業員数(期末)」は、役員を含まない従業員数。なお、第1次経営改革の希望退職者で在籍中の人員を控除後の従業員数は、265名(2008年12月末現在)となる。

(注3) 上記表中運用資産残高は、COSMO社およびPMA社の運用資産残高を含む。

## 各四半期ごとの実績推移

	第1四半期		第2四半期		第3四半期		第3四半期累計	
	金額 (百万円)	対前年同期増減率 (%)	金額 (百万円)	対前年同期増減率 (%)	金額 (百万円)	対前年同期増減率 (%)	金額 (百万円)	対前年同期増減率 (%)
営業収益	3,735	- 53.6	2,966	- 39.8	2,661	- 76.8	9,364	- 61.7
残高報酬	3,205	- 25.3	2,891	- 30.2	2,008	- 48.4	8,104	- 34.2
成功報酬	1,171	- 68.5	33	- 95.6	1,138	- 80.2	2,343	- 77.1
その他	- 641	-	41	13.9	- 484	-	- 1,084	-
営業費用 及び一般管理費	4,396	- 37.2	3,346	- 24.3	4,325	- 32.6	12,068	- 32.4
営業利益	- 660	-	- 380	-	- 1,663	-	- 2,704	-
経常利益	- 273	-	- 299	-	- 2,706	-	- 3,280	-
純利益	- 809	-	- 343	-	- 2,854	-	- 4,007	-



## 営業収益内訳および成功報酬付AUM付帯比率

営業収益内訳	2008年3月期		2009年3月期	
	第3四半期	通期	第3四半期	前年同期比
残高報酬 (百万円)	12,321	15,745	8,104	-34.2%
料率(手数料控除後) (%)	0.83%	0.83%	0.85%	+0.02
成功報酬 (百万円)	10,217	12,897	2,343	-77.1%
営業投資有価証券売買損益	1,730	1,730	-9	-
営業投資有価証券評価損益	-	-	-1,199	-
その他営業収益 (百万円)	176	179	125	-28.9%
営業収益 合計 (百万円)	24,446	30,552	9,364	-61.7%

成功報酬付AUM比率	2008年3月期		2009年3月期	
	通期		第3四半期	対前年度比
スパークス・アセット社	残高(億円)	3,607	2,199	-39.0%
	比率(%)	50.4%	50.2%	-0.2
COSMO社	残高(億円)	2,553	1,440	-43.6%
	比率(%)	87.2%	89.4%	+2.3
PMA社	残高(億円)	1,922	1,265	-34.2%
	比率(%)	75.1%	82.2%	7.1
合計	残高(億円)	8,082	4,906	-39.3%
	比率(%)	63.9%	65.1%	1.2

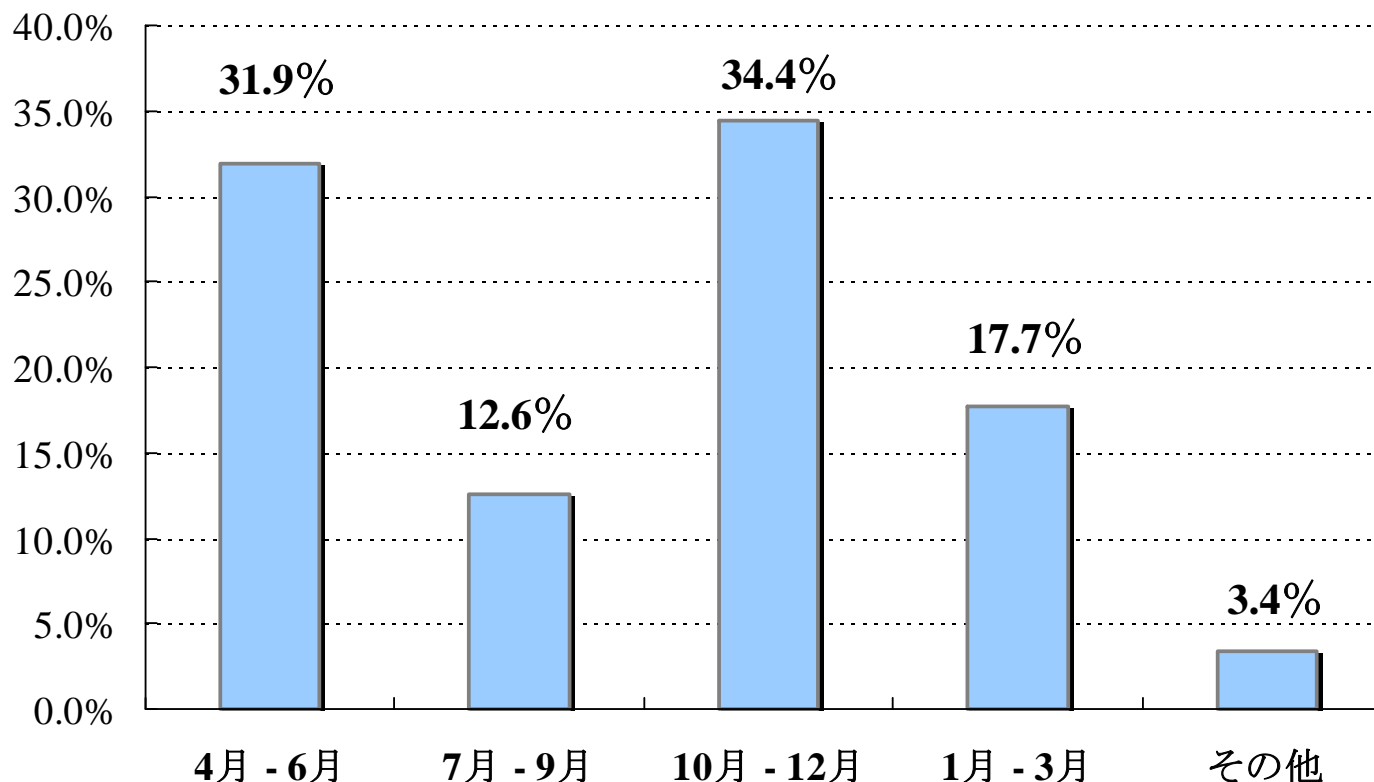


(注1) 上記表中の数字は「前年同期比」「残高報酬・料率(手数料控除後)(%)」と「成功報酬・対AUM付帯比率(%)」を除き、単位未満を切り捨てて表示している。「前年同期比」「対前年度比」については、四捨五入により小数点第1位まで表示している。なお「残高報酬・料率(手数料控除後)(%)」の「前年同期比」と「成功報酬・対AUM付帯比率(%)」の「対前年度比」は変化率ではなく、単純な増減幅を表示している。

(注2) 残高報酬料率(ネット・ベース) = (残高報酬 - 残高報酬に係る支払手数料) ÷ 期中平均運用資産残高

## 成功報酬の計算基準日の分布状況

運用資産残高(2008年12月末)に占める割合



(注1) 上記表中の「運用資産残高(2008年12月末)に占める割合」では、SPARXグループが運用する全てのファンド(「ファンド」とは、投資信託あるいは投資一任口座を指す。以下同様)を、成功報酬の基準日および支払いが確定する月ごとに分類し、その上で、分類した残高がSPARXグループの2008年12月末の運用資産残高に占める割合をグラフ化した。その際、①複数の支払時期があるファンドについては、該当ファンドの残高を各支払月に分割計上、②成功報酬がついていないファンドは、運用資産残高の合計から除外、という調整を行い、上記割合を算出している。③日本株式未公開株式投資戦略については、成功報酬を解約時に一括して支払うため、「その他」に分類している。尚、上記の%表示は、四捨五入により小数点第1位まで表示している。

(注2) 上記の数字は、社内データによる概算値であり、正確性を保証するものではない。



## 経費 内訳

(単位は全て百万円)	分類	2008年3月期		2009年3月期	
		第3四半期	通期	第3四半期	前年同期比
支払手数料	営業費用	2,680	3,558	1,218	-54.5%
委託計算費	営業費用	190	247	151	-20.5%
その他	営業費用	290	422	380	+31.2%
人件費	一般管理費	9,060	11,059	5,032	-44.5%
旅費交通費	一般管理費	550	692	505	-8.2%
不動産賃借料	一般管理費	556	821	696	+25.2%
事務委託費	一般管理費	1,012	1,421	791	-21.8%
減価償却費	一般管理費	254	372	233	-8.3%
のれん償却費	一般管理費	2,124	2,772	2,251	+6.0%
その他	一般管理費	1,122	1,564	807	-28.1%
営業費用・一般管理費 合計		17,840	22,933	12,068	-32.4%



(注1) 上記表中の数字は、「前年同期比」を除き、単位未満を切り捨てて表示している。「前年同期比」は、四捨五入により小数点第1位まで表示している。

(注2) 上記表中の「人件費」には、派遣社員等に関する費用も含んでいる。

## 基礎収益力

残高報酬(手数料控除後)のみで確保できる経常的な利益は、どのくらいか？

		2008年3月期 通期	2009年3月期 第3四半期(12ヶ月換算)
AUM平残	(億円)	16,197	10,865
残高報酬料率 (手数料控除後)	(%)	0.83	0.85
残高報酬 (手数料控除後)	(百万円)	13,414	9,181
経常的経費	(百万円)	10,197	9,324
<b>基礎収益</b>	<b>(百万円)</b>	<b>3,216</b>	<b>-142</b>
従業員数(期末)	(人)	284	289



- (注1) 上記表中数字は単位未満を切り捨て表示している。「残高報酬」は概算値として、残高報酬料率からの年換算値を表示している。  
 (注2) 「経常的経費」とは①支払手数料全額、②実績賞与(賞与引当金繰入含む)、③のれん償却費の合計を営業費用・一般管理費の合計から控除した費用の合計を指す。  
 (注3) 「従業員数(期末)」は、役員を含まない従業員数。

## 第3四半期 貸借対照表概要

	前第3四半期 (百万円)	当第3四半期 (百万円)	前年同期比
流動資産	35,201	21,730	-38.3%
うち、現預金	13,315	10,409	-21.8%
うち、営業投資有価証券	5,730	4,798	-16.3%
固定資産	47,440	35,653	-24.8%
うち、のれん	22,378	22,583	-0.9%
うち、投資有価証券	23,197	11,204	-51.7%
<b>(資産の部 合計)</b>	<b>82,641</b>	<b>57,383</b>	<b>-30.6%</b>
短期借入金	4,153	2,200	-47.0%
一年以内返済長期借入金	-	2,000	-
社債	5,000	5,000	0.0%
長期借入金	12,000	10,000	-16.7%
<b>(負債の部 合計)</b>	<b>30,727</b>	<b>21,504</b>	<b>-30.0%</b>
資本金・資本剰余金	25,713	26,696	+3.8%
利益剰余金	21,626	15,116	-30.1%
自己株式	-4,438	-4,438	-
少数株主持分	3,689	1,300	-64.8%
<b>(純資産の部 合計)</b>	<b>51,914</b>	<b>35,878</b>	<b>-30.9%</b>



(注) 上記表中の数字は、「前年同期比」を除き、単位未満を切り捨てて表示している。「前年同期比」は、四捨五入により小数点第1位まで表示している。

## 純資産の動きについて

(単位:百万円)

	2008年 3月末	2008年 6月末	2008年 9月末	2008年 12月末
株主資本	43,422	41,137	40,798	37,374
資本金	12,144	12,404	12,404	12,404
資本剰余金	14,030	14,291	14,291	14,291
利益剰余金	21,685	18,880	18,540	15,116
自己株式	-4,438	-4,438	-4,438	-4,438
評価・換算差額等	1,077	1,879	-1,157	-2,890
その他有価証券評価差額金	40	277	-1,342	-2,433
為替換算調整勘定	1,037	1,602	185	-457
新株予約権	45	56	81	94
少数株主持分	3,075	2,963	2,498	1,300
純資産合計	47,621	46,037	42,220	35,878



## 借入金・社債の概要

(2008年12月末現在)

区分		金額(百万円)	借入日	返済日	備考
短期借入金(コミットメント・ライン)	A	2,200	2008/12/5	2009/1/5	契約期間(2008/6/6~2009/6/5)
	合計	2,200			
一年以内返済予定の長期借入金	C	2,000	2006/11	2009/1/31	既に返済済み
	合計	2,000			
長期借入金	D	2,000	2006/11	2010/1/31	
	E	3,000	2006/11	2011/1/31	
	F	5,000	2006/11	2011/11/25	
	合計	10,000			
借入金合計		14,200			
社債		5,000	2005/9	2012/9/28	
有利子負債合計		19,200			

### 資金の流動性に関するストレス・テストは実施済み

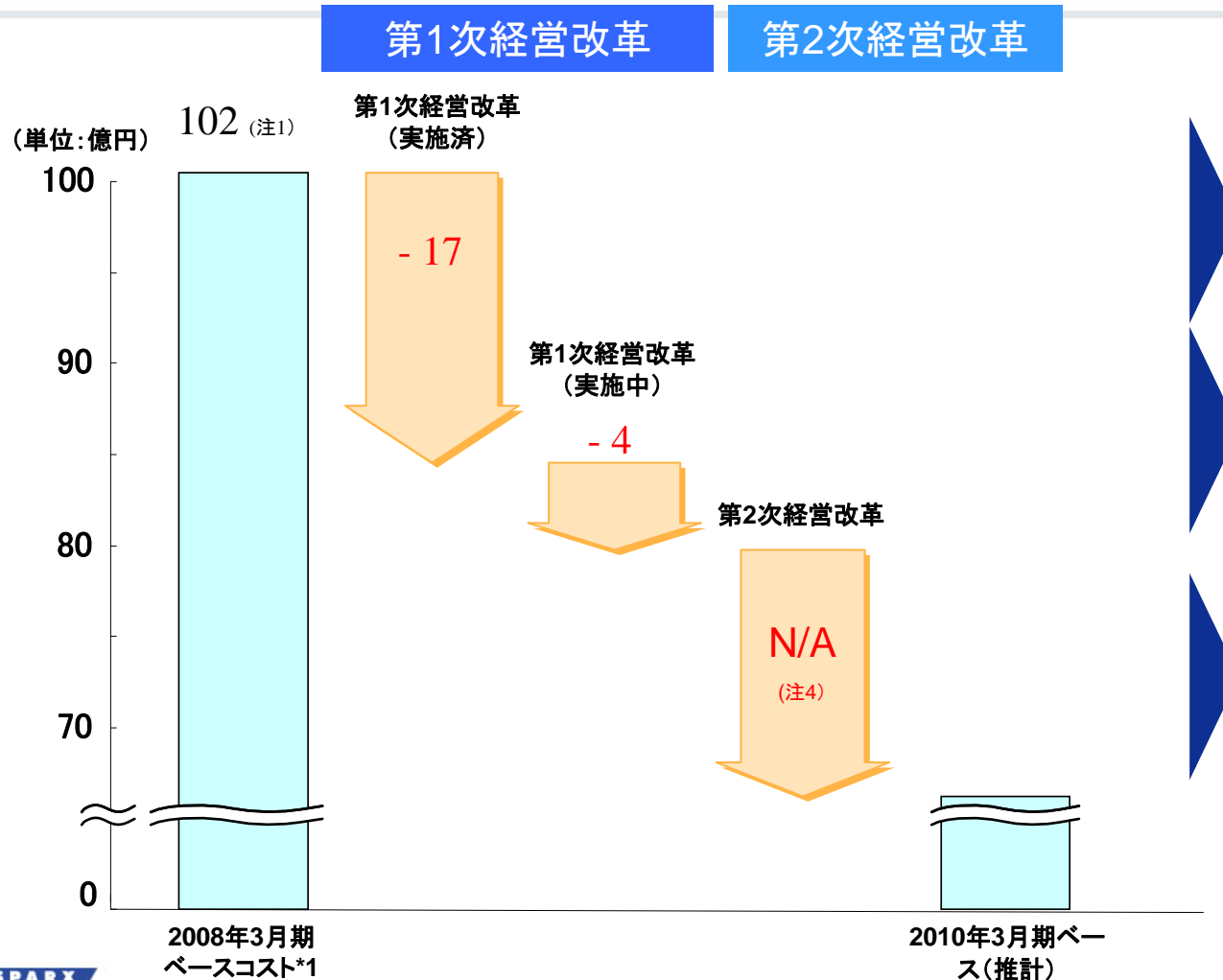
現預金・保有している投資有価証券・コスモ社株式のロッテ社への譲渡代金等によりマネジメントは十分に可能



# スパークス経営改革について



# SAM経営改革による効果:アップデート



## 主な内容

- 東京では、希望退職者26名が応募し、今年度中に退職。
- 本社ビルのオフィスを一部返還。
- システム関連費用・旅費・事務委託費等の費用の見直しに着手。
- ロンドン子会社の縮小は完了。
- 米国内の機関投資家営業は東京に集中。NY子会社については、投信ビジネスの機能のみ残して縮小。
- 香港現地法人でも人員削減に着手し、海外拠点における人員削減数は、15名。

- 「日本株ロングオンリー」・「日本株ロングショート」を中核事業とする。
- 上記以外のビジネスについては、事業のパフォーマンスを精査し、今年度中に「選択・集中・撤退」を決める

- 人員の更なる削減
- 業務集中による削減
- PMA社もコスト見直し？



(注1) 「経常的経費」の金額を使用。「経常的経費」とは①支払手数料全額、②実績賞与(賞与引当金繰入含む)、③のれん償却費の合計を営業費用・一般管理費の合計から控除した費用の合計を指す。

(注2) 経営改革の財務的効果の数字(実施済および実施中)の数字については、各施策の内容に基づいた内部見積り金額。

(注3) 英国子会社、米国子会社、香港子会社を対象とし、PMA社、COSMO社は含まない

(注4) 第2次経営改革の財務的効果については、現在、社内にて精査中

# 参考資料



## スパークス・アセット社 主要投資戦略 計測開始日來リターン

(年率換算)

(コンポジット計測開始日～2008年12月末)

	日本株式 一般(合同口)	日本株式 中小型	日本株式 ロング・ショート (ドル建、Lev.2)	日本株式 ロング・ショート (円建、Lev.1)	日本株式 集中投資
コンポジット	6.7%	0.5%	14.1%	2.7%	3.6%
参考インデックス値	-3.3%	-1.4%	-0.2%	-5.4%	-4.1%
超過リターン	<b>10.0%</b>	<b>1.9%</b>	<b>14.3%</b>	<b>8.1%</b>	<b>7.7%</b>

参考インデックス	TOPIX配当込	ラッセル野村日本株ス タイルインデックス・ミッド・ アンド・スモール	TOPIX配当込 (ドルヘッジ)	TOPIX配当込	TOPIX配当込
計測開始日	97年5月	2000年1月	97年8月	2000年6月	99年7月
コンポジット・リターン のボラティリティ(年率)	24.2%	18.1%	11.6%	6.6%	21.3%



- (注1) 上記表中の数字は、スパークス・アセット社で運用する主要な投資戦略のコンポジット・リターンを社内資料に基づいて作成した。表中の「参考インデックス」とは、相対比較のために便宜的に採用した指標であり、顧客から要請されているベンチマークとは限らない。
- (注2) リターン算出基準は次の通り。「日本株式一般」「日本株式中小型」「ロング・ショート(ドル建、Lev2)」「集中投資」については、修正ディーツ法・運用関連手数料控除前、「ロング・ショート(円建、Lev1)」は基準価格法・運用手数料控除後、「VCI(ドル建)」は内部収益率・運用手数料控除前。また、上記数字は四捨五入により小数点第1位まで表示している。
- (注3) 「TOPIX配当込(ドルヘッジ)」は1ヶ月為替フォワード・レートで完全にヘッジされた場合のドル建のリターンを計算している。
- (出所) スパークス・グループ(株) (2008年12月末現在)

## スパークス・アセット社 コンポジット算出に関する追記

1. 各コンポジットはSPARXグループのグループ会社(ただし、COSMO社、PMA社を除く)が運用するポートフォリオを対象としている。
2. 今回提示した各コンポジットの投資戦略の内容は以下の通りである。

コンポジットの名称	投資戦略の内容
日本株式一般(合同口)	合同運用を行う、日本の全上場・公開銘柄を投資対象とするアクティブ投資戦略
日本株式中小型	日本の中・小型株を主要投資対象とする投資戦略
日本株式ロング・ショート (ドル建、Lev2)	日本株に対するロング・ポジションとショートポジションの合計を純資産の2倍の範囲内として安定した絶対リターンを追求するロング・ショート投資戦略
日本株式ロング・ショート (円建、Lev1)	日本株に対するロング・ポジションとショートポジションの合計を純資産の1倍の範囲内として安定した絶対リターンを追求するロング・ショート投資戦略
日本株式集中投資	少数銘柄の日本株式に集中的に投資する投資戦略
日本株式VCI(ドル建)	コーポレート・ガバナンスの見地から日本株式に能動的に投資する投資戦略

3. リターンに関する追加情報(過去5年の年度別リターン)

	2004年3月期	2005年3月期	2006年3月期	2007年3月期	2008年3月期
日本株式一般(合同口)	78.05%	5.54%	60.69%	-14.57%	-28.93%
日本株式中小型	70.25%	13.26%	44.34%	-11.86%	-28.95%
日本株式L/S(ドル建、Lev2)	37.92%	2.36%	27.95%	-3.74%	-14.43%
日本株式L/S(円建、Lev1)	27.76%	2.96%	18.68%	-7.50%	-11.31%
日本株式集中投資	53.23%	3.13%	48.94%	-18.71%	-10.14%

この資料は、スパークス・グループ株式会社の株主および関心を有する方への情報提供のみを目的として作成したものであり、当社の株式またはその他の有価証券の取引を勧誘する目的で提供されるものではありません。スパークス・グループ株式会社もその関連会社も、本資料に含まれた数値、情報、意見、その他の記述(これらは未監査のもので)の正確性、完全性、妥当性等を保証するものでなく、当該数値、情報、意見、その他の記述を使用した、またはこれら依拠したことに基づく損害、損失または結果についてもなんら補償するものではありません。過去の実績値は将来のパフォーマンスを示唆または保証するものではありません。この資料には、スパークス・グループ株式会社(連結子会社を含む)の見通し、目標、計画、戦略などの将来に関する記述が含まれております。これらの将来に関する記述は、スパークス・グループ株式会社が現在入手している情報に基づく判断および仮定に基づいており、判断や仮定に内在する不確定性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、将来におけるスパークス・グループ株式会社の実際の業績または展開と大きく異なる可能性があります。なお、上記の不確定性および変動可能性を有する要素は多数あります。以上の不確実性および変動要素全般に関する追加情報については、当社の有価証券報告書をご参照ください。ここに記載された内容は、資料作成時点のものであり、今後予告することなしに変更されることもあります。この資料の著作権はスパークス・グループ株式会社に属し、その目的を問わず書面による承諾を得ることなく引用、複製、配布、送信することを禁じます。

スパークス・アセット・マネジメント株式会社(スパークス・グループ株式会社の100%子会社)は、グローバル投資パフォーマンス基準(GIPS®)に準拠して本資料の関係部分を作成し提示しています。準拠主体である会社はスパークス・アセット・マネジメント株式会社、SPARX Overseas Ltd.、SPARX Investment & Research, USA, Inc. 及び SPARX International (Hong Kong) Limitedで構成されます。スパークス・アセット・マネジメント株式会社は、日本において投資運用業、投資助言・代理業、第二種金融商品取引業等を行う金融商品取引業者として登録されています。

スパークス・グループ株式会社

郵便番号141-0032

東京都品川区大崎1-11-2 ゲートシティ大崎イーストタワー16F

Tel: 03-5437-9700 (代)